



☆2学期中間考査

2学期中間考査が終わりました。夏休みの課題も一部考査範囲とした教科もありました。夏休みの課題に取り組みを、考査に向けた学習につなげることはできたでしょうか。また、考査前の連休を上手に活用し、計画的に学習を進めることができたでしょうか。

テストが返却されると、つい点数ばかりに目が向きがちですが、大切なのは、できたこと・できなかったことを振り返ることです。間違えた問題については「なぜ間違えたのか」「どこを理解できていなかったのか」を確認し、もう一度解き直してみましょう。反対に、正解した問題についても、きちんと理解して答えられたのかを確認することが大切です。今回の考査を一つの区切りとして終わらせるのではなく、できなかったことを次の学習に生かす機会にしてほしいと思います。テスト直しや復習を丁寧に行い、日々の授業や次の考査につなげていきましょう。

☆身近な街のコンサート

9月26日(土)、「身近な街のコンサート」が開催され、虎の門交響楽団のみなさまによる演奏を聴きました。前半は、「カレリア」組曲より「行進曲風」に、「ペール・ギュント」組曲より「朝」「山の魔王の宮殿にて」、「シンコペイテッド・クロック」、「プリंक・プランク・プランク」、「舞踏会の美女」が演奏されました。「朝」や「山の魔王の宮殿にて」は、音楽から情景をイメージしやすい曲で、想像を膨らませながら楽しむことができました。また、「シンコペイテッド・クロック」など、どこかで耳にしたことのある曲もあり、生演奏ならではの音の迫力を感じることができました。

後半には吹奏楽部の演奏や指揮者体験が行われ、7年生からは1名がオーケストラの指揮にチャレンジしました。その後、「カルメン」組曲より「アラゴネーズ」「ハバネラ」「闘牛士」、「威風堂々」第1番などが演奏されました。華やかで力強い音楽を楽しんだ後、最後には御成門中学校校歌をオーケストラの伴奏で合唱しました。

今回のコンサートを通して、普段からよく聴く曲や、情景を思い浮かべながら聴ける曲など、さまざまな音楽の魅力に触れることができました。生の演奏を聴くことで、音楽をより身近に感じる機会となりました。



保護者のみなさまへ

ESAT-Jの『保護者・生徒申し込みマニュアル』を配布しました。

ESAT-Jのお申込みにつきましては、各ご家庭で手続きを進めていただくものとなっております。

お手数をおかけしますが、配布物をご確認の上、ご家庭でお申込みを進めていただきますようお願いいたします。

☆第12回 学年朝礼

9月29日(火)に第12回学年朝礼があり、2人の生徒がスピーチを行いました。

「バドミントン」

1組

突然ですが、バドミントンのシャトルってどのくらい速く飛ぶと思いますか？

実は、プロのスマッシュの速さは時速300キロを超えることもあり、新幹線より速いんです。でも、バドミントンはただ速く打てば勝てるスポーツではありません。相手のいない場所を狙ったり、わざとゆっくり打ったりするなど、頭を使ってすることも重要です。

そして、意外と大切なのが「フットワーク」です。バドミントンのシャトルは前後左右、いろいろな場所に飛んでくるので素早く動いて打ちに行かなければなりません。さらに、それを何回もくり返すので、見た目以上に体力を使います。

僕もバドミントン部で練習をしていますが、フットワークができるとシャトルが取りやすくなり、動きやすくなると実感します。バドミントンは速さだけでなく、体力、技術、頭脳が必要なスポーツです。みなさんも少しでも興味をもったらバドミントンをやってみてはどうでしょうか。

「なぜ遅刻する人はギリギリを攻めるのか」

2組

みなさんは、待ち合わせや学校に行くとき、何分前に着くようにしていますか？

僕は時間にルーズなところがあって、遅刻することがあります。それなら次から早く出ればいいのですが、なぜかまた「このくらいなら間に合う」とギリギリを攻めてしまいます。そこで、なぜなのか調べました。

人は、何かにかかる時間を実際より短く見積もってしまうことがあるそうです。「準備は10分で終わる」「駅までこれくらいで行ける」と、自分に都合よく考えてしまいます。しかも、ギリギリ間に合った経験があると「今回もいける」と思ってしまいます。

でも、毎回成功するとは限りません。これからは「間に合う時間」ではなく、「余裕をもって着く時間」から逆算して行動してみようと思います。

☆来週の予定

日	曜日	予 定	給食
5	月	45分時程 全校朝礼・安全指導 合唱放課後練習始	○
6	火	45分時程 学年朝礼	○
7	水	45分時程	○
8	木	45分時程	○
9	金	45分時程	○

